

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成28年6月8日

仕事の内容	学校給食センター運営委員会事務			
担当部署・課長名	給食	課	給食	係 課長名 斎藤 謙二郎

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食費	事業	②	学校給食センター運営費	
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。							① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	<ul style="list-style-type: none"> 東大和市学校給食事業計画 東大和市学校給食会計予算・決算 							→ ① 年間給食日数 ② 児童・生徒一人当たりの平均栄養摂取量(熱量)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]							② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	教育委員会の諮問に対する審議の過程及び答申に、市民である運営委員の意見を反映させ、学校給食の適正な運営を図る。							→ ① 運営委員会で取り扱った案件等の数					
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。							③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	東大和市学校給食センター運営委員会規則に基づき、教育委員会からの諮問に応じ、給食センターの運営に関する事項について審議した。							→ 運営委員会開催回数 × 運営委員数					

指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	日	小192・中185	小192・中185	小192・中185		
			Kcal	小654・中820	小643.8・中807.4	小646.6・中816.4		
	成果指標	②の数値	件	8	4	4		
	目 標	②の目標値				—	—	—
目標値設定の考え方			運営委員会における議論が活発になされ、学校給食の適正な運営に委員の意見が反映されている状況を示す数値					
活動指標	③の数値		105	70	70			

3 経費	事業費		円	504,000	315,000	234,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	504,000	315,000	234,000	
		特定財源	円	0	0		
		(うち受益者負担)	円	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05	
		所要人数(再任用)	人	0	0	0	
		職員人件費(再任用以外)	円	414,900	414,900	411,650	
職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	918,900	729,900	645,650		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	昭和42年に学校給食センター開設と同時に運営委員会規則を制定し、委員会を設置した。 保護者から預かった給食費からなる給食会計の執行等については、公会計ではないからこそ保護者等の意見を反映し、適正な執行がなされているかチェックしてもらうことが肝要である。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 行政への市民参加の観点から、給食行政の実施にあたり、保護者等の意見をより反映させることが求められている。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	運営委員会における審議が形骸化しているのではないかとの見解が市議会において議員から示されたことがある。一方、委員経験者からは、審議に参加したことで給食の状況がよく理解できたとの感想がしばしば寄せられる。	

仕 事 の 内 容	学校給食センター運営委員会事務			
担当部署・課長名	給食	課	給食	係 課長名 斎藤 謙二郎

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
	(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。		
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
	委員が審議に積極的に参加し、充実した審議ができるようにする。		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) わかりやすく簡潔な資料の準備、進行に努める。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。		
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成 果	成果を向上させる。		経 費
			仕事の経費は維持する。